

福島西・福島北統合校 に関する説明会

日時：令和7年11月10日（月） 18:30～19:30
場所：福島市 ふくしん夢の音楽堂 小ホール

日時：令和7年11月13日（木） 18:30～19:30
場所：福島市 あづま荘 会議室「きびたき」

日時：令和7年11月20日（木） 18:30～19:30
場所：二本松市 二本松福祉センター 3階会議室

福島県教育委員会

0

本日の次第

- 1 開会
- 2 主催者あいさつ
- 3 資料説明
- 4 質疑応答
- 5 諸連絡
- 6 閉会

1

本日説明する内容

- 1 統合校の方向性について
- 2 統合校の教育内容について
- 2 (1) 学科について
- 2 (2) 特色ある取り組みについて
- 3 通学費支援について
- 4 校舎方式と
今後のスケジュールについて

2

1 統合校の方向性について

3

統合校の方向性

福島西高校

定員 200名 (令和5年度定員)
 ○普通科(4学級)
 ○デザイン科学科 (1学級)

福島北高校

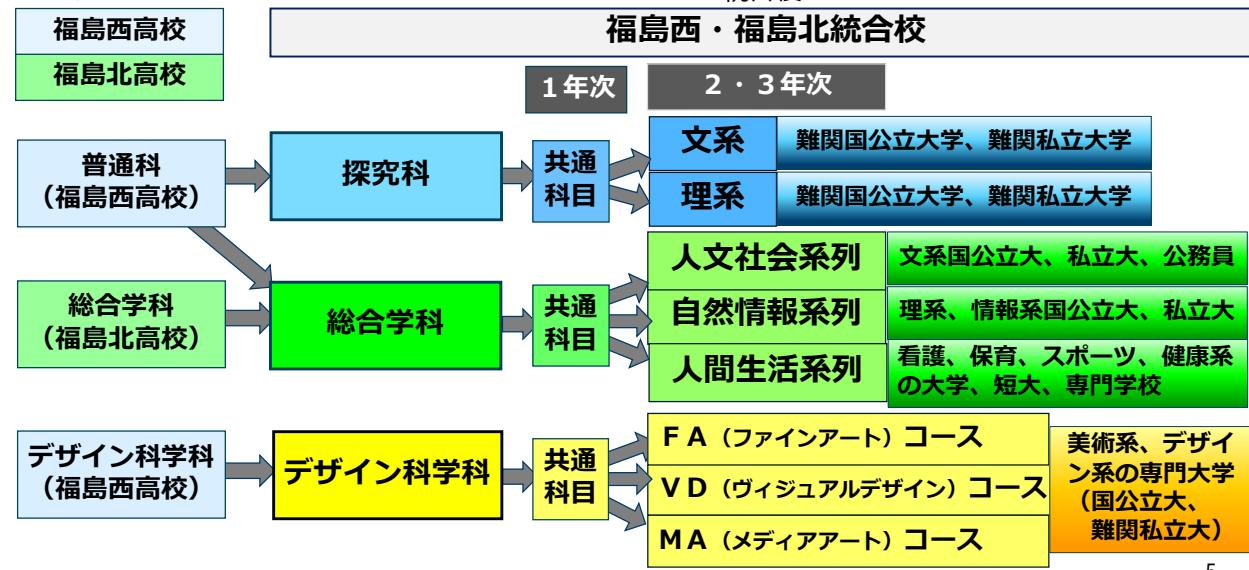
定員 120名 (令和5年度定員)
 ○総合学科(3学級)

令和9年4月開校予定 福島西・福島北統合校

設置学科 : 探究科(仮称)(1学級40名) デザイン科学科(1学級40名)
 総合学科(4学級160名)
使用校舎 : 福島西高校校舎(本校舎) 福島北高校校舎(2年間使用)

学科の全体像

統合前



教育目標

様々な教育活動をとおして、探究的・実践的な力を身に付けるとともに、地域や世界的規模の問題解決に果敢にチャレンジし、他者の多様な価値観を認め、互いに協働しながら、社会をリードしシティズンシップを発揮できる人材を育成する。

教育方針

- 1 校訓「知性・挑戦・創生」のもと、県北地区の進学指導重点校として、探究科と総合学科、そして県内唯一の美術科（デザイン科学科）を併置し、多様性の融合を図る学校
- 2 高い志と自らの目標にチャレンジするため、他者と協働しながら学び続け、社会の発展に貢献できる人材を育成する学校
- 3 地域や世界的規模の課題解決に向けた探究学習や大学、地域社会と連携した学びをとおして地域の期待に応える学校
- 4 シティズンシップを発揮し、自身の学びを社会に還元できる人材を育成する学校

校訓

知性・挑戦・創生

6

進学指導
重点校**社会をリードし、シティズンシップを発揮できる人材を育成**

育成する力 果敢に挑戦する力 探究的、実践的な力 多様な他者と協働する力

地域や世界的規模の課題解決に向けた探究学習
大学、地域社会と連携した学び

多様な進路希望の実現に向けたきめ細かな学習指導と適性に応じた進路指導

難関国公立大学、
難関私立大学への進学を
目指す国公立大学、私立大学、
専門学校等への進学、
公務員を目指す美術・デザイン系の国公立
大学、難関私立大学への
進学を目指す**探究科****総合学科****デザイン科学科**

7

統合校の教育内容について

2 (1) 学科の取り組みについて

(2) 特色ある取り組みについて

探究科

フィールドワーク、海外研修などを通した探究活動
(仮称) 各教科の学びを活用した探究学習による深い学び

※生成AIによるイメージ画像



探究力を磨く学び

・探究活動の充実

探究科独自の「総合的な探究の時間」
理数探究基礎、探究科合宿、海外研修

・教科を横断した学校設定科目の設定

例 シティズンシップ（政経+倫理）
データサイエンス（数学+情報）

・外部機関との連携

専門家による指導助言、講演会、特別講義
研究実績のある大学との連携

・理数、英語の専門科目の設定

例 理数数学、ディベートディスカッション
理数理科、エッセイライティング

探究活動、探究学習
で得た確かな学力



総合型選抜入試
推薦・一般入試



難関国公立大学
難関私立大学への進学

探究に取り組むと正答率が高い傾向



文部科学省が令和6年度に行った調査データによると、**探究的な学びに積極的に取り組んでいる生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向**であること分かっています。

思考力・判断力・表現力が育成される



大学入学共通テストでは、探究活動で培われるような「**思考力、判断力、表現力**」を重視した問題が実際に**出題**されています。

大学入試「総合型選抜」に対応できる



今後の大学入試では、高校3年間で「**何を**よりも**どのように**」学んだかを合否の判定基準にする「**総合型選抜入試**」が**増加**し、より探究活動の重要性が高まっています。

探究科における探究学習はどういう学びか？

例：地球温暖化が進行しており、その原因の一つは、二酸化炭素です！



各教科での学び

学んだことを知識として覚え、活用する

温暖化の原因は、二酸化炭素か！しっかり覚えよう。
温暖の原因は他に何かあるのか？
二酸化炭素を理解するためにも、化学をしっかり学ぼう



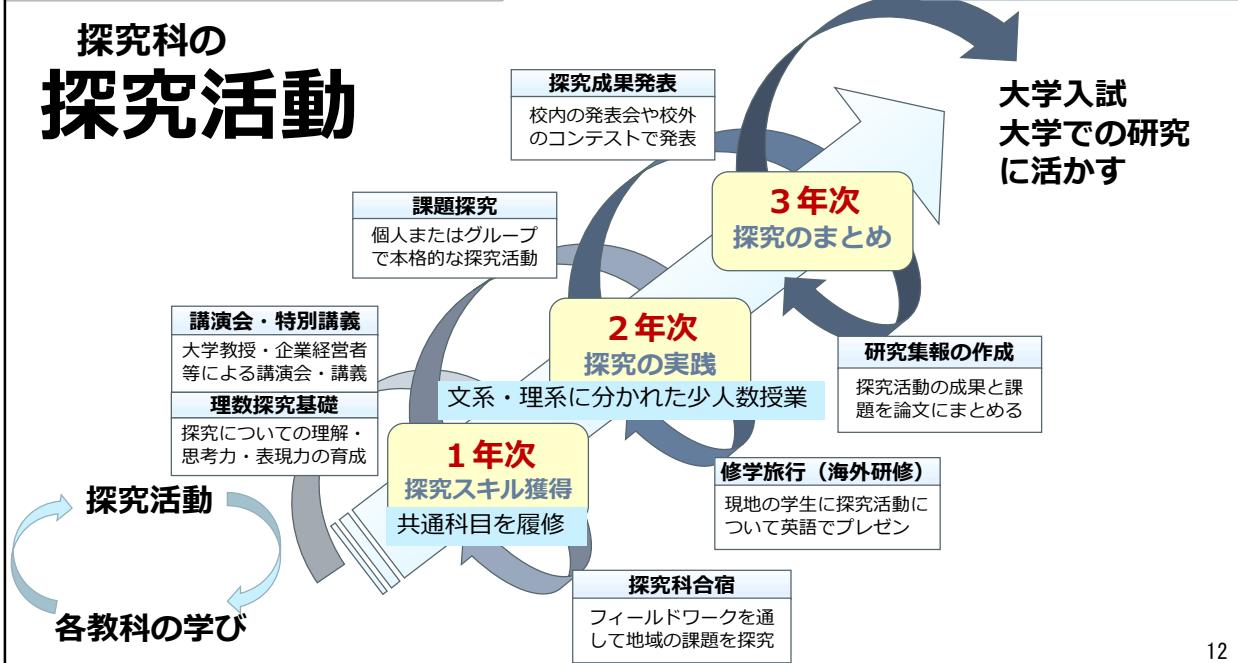
探究学習での学び

各教科の学びを土台として、課題に対し、自ら問い合わせを立て、協働的な学びを通して、課題に対する理解を深めながら、解決策をまとめ、発表する

温暖化の原因は、本当に二酸化炭素なのか？
大学の研究所に聞いてみて、自分なりの仮説を立ててみよう！
新たな観点で二酸化炭素削減案をまとめて、発表しよう！



探究科の 探究活動



総合学科

個性を生かした主体的な学習・
自己の進路志望を深める学習を重視

幅広い選択科目から
自分で選択

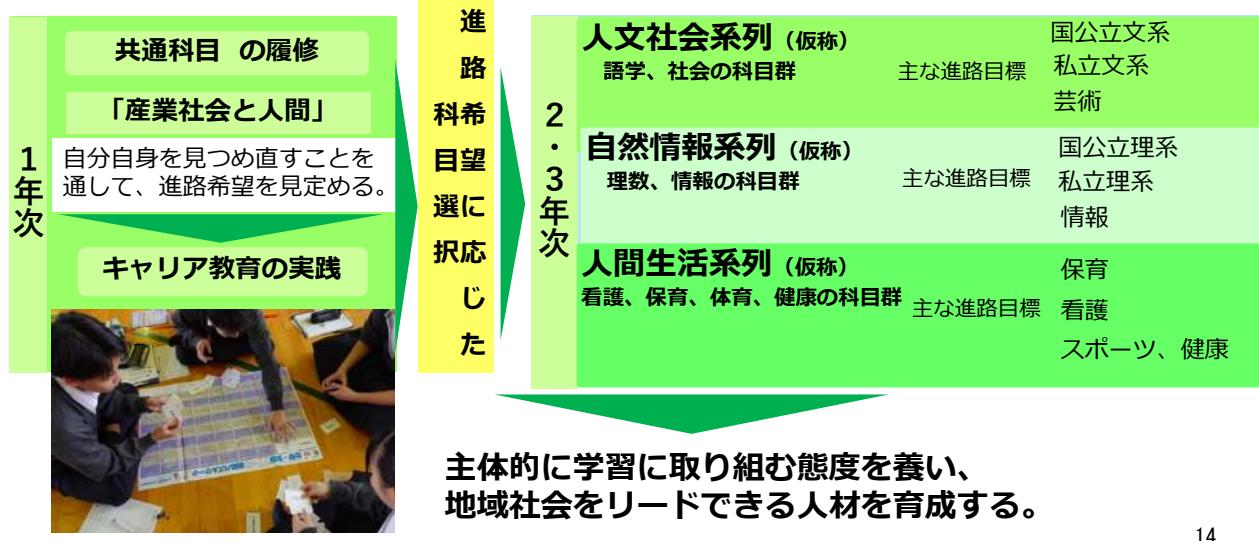
幅広い科目の中から選んで学ぶ
総合学科



「幅広い科目の中から選んで学ぶ総合学科」
パンフレット表紙 文部科学省作成より

総合学科

○進学型総合学科として、
大学進学等に対応したカリキュラムとキャリア教育を実践



14

人文社会系列（仮称）

※生成AI作成のイメージ画像



言語・社会・文化への理解を深めるため、
国英社を中心に学び、国公立をはじめとした
四年制大学、短期大学進学を目指す。

系列の目標

- ▶ 語彙力の蓄積、論理的文章への読解力の基礎を養う。
- ▶ 文系科目に対する理解を深める。

系列科目とその学び（例）

- | | | |
|-------|-----------------|----------------------------|
| 国公立文系 | 「エッセイライティング」 | ・自分の意見を英語の文章や会話で伝え合う手法を学ぶ。 |
| 私立文系 | 「ディベートディスカッション」 | |
| 芸術 | 「ピアノ」「実用書道」など | ・芸術の学びを深める。 |

進路

- ▶ 国公立文系、私立文系、芸術系の四年制大学、短期大学、公務員など

15

※生成AI作成のイメージ画像

自然情報系列（仮称）

**数学や科学について理解を深めるため、
数理や情報を中心に学び、国公立をはじめとした
四年制大学、短期大学進学を目指す。**

系列の目標

- ・科学的に探究する資質や能力を育む。
- ・科学的思考力を養う。

系列科目とその学び（例）

理系四大

「理数化学」

- ・化学的な事物・現象の観察、実験や課題研究を行う。

「情報II」「プログラミング」「ネットワーク活用」

- ・情報システムや多様なデータを適切かつ効果的に活用する力やコンテンツを創造する力を育成する。



進路

- 理系、情報系の国公立、私立四年制大学、短期大学など

16



※高大連携授業の様子（福島北高校noteより）

人間生活系列（仮称）

**看護、保育、スポーツ、健康分野の基礎知識や技能を学び、
様々な分野で活躍する人材を育成する。**

系列の目標

- ・看護、保育、スポーツ、健康分野に関する基礎的・基本的な知識と技能を養う。

系列科目とその学び（例）

看護

「生活と福祉」

- ・高齢者福祉に関わる専門知識等を学ぶ。

保育

「保育基礎」

- ・保育に関する高大連携授業を展開。

スポーツ
健康

「スポーツI・II」

- ・各種競技の技術を磨く。

「フードデザイン」

- ・食に関する幅広い知識、技術を身に付ける。

進路

- 看護、保育、スポーツ、健康分野の四年制大学、短期大学、専門学校

17



総合学科の探究活動

○総合的な探究の時間

2年次の活動をメインに、研究内容を総合型選抜等での入試に生かす

1年次

- ・「産業社会と人間」
自己理解、
進路、地域理解を深める
- ・2年次の探究活動のテーマ
を設定する

2年次

- ・設定したテーマに
そって、調査・研究
を進める
(探究活動の中心)

3年次

- ・各種コンクールへの
応募
- ・探究活動のまとめ
- ・課題研究発表会

デザイン科学科

○県内の県立高校で唯一、
美術を専門的に学ぶことができる専門学科

1年次 造形の基礎を学ぶ

2・3年次 3つのコースに分かれて学習

ファインアート (FA)	ビジュアルデザイン (VD)	メディアアート (MA)
絵画（油絵・日本画）や彫塑 などを中心に学習 独自の表現を追求する	グラフィックデザインやクラフト デザインなどを中心に学習 人に伝える力を磨く	映像表現、3D・情報デザインなど を中心学習 多領域で活躍できる実践力を養う



学習の成果を生かした総合型選抜入試
身に付けた学力を生かした一般選抜入試



美術系・デザイン系の専門大学
(国公立大学、難関私立大学) 進学を目指す

デザイン科学科

○福島西高校における取り組みの継承と進化

コース別の専門的な学び	外部講師の専門的な学び	地域等に貢献する活動	系統的な進路指導
2年次より3つのコースに分かれての学習	美術大学講師による実技講習会の実施	「出張！デザカ」による黒板アート作成や共同制作	美術系の大学施設見学



- アート・デザイン分野で活躍できる人材の育成
- 付加価値が付く作品の制作
- 地域に開かれた学び

美術・デザイン分野で将来リーダーとして活躍する人材を育成する。

20

デザイン科学科の探究活動

○統合後の新たな取り組み

○アート（自己の感情や考えを表現する活動）と
デザイン（社会が求めているものを表現する活動）を軸に
自己の造形表現と社会との関わりを考え、自己の造形表現を深める活動を行う

1年次

- ・課題発見の方法を学ぶ
(フィールドワーク・インタビュー)
- ・社会の中のアートや
デザイン事例を調査・分析
- ・チームで地域の課題を見つけ、仮説を立てる
- ・1年間の成果発表

2年次

- ・地域、外部団体と連携したアートやデザイン提案活動
- ・プロトタイプ制作
- ・中間発表、フィードバック
- ・1年間の成果発表

3年次

- ・個人による課題研究
- ・卒業制作展成果発表、プレゼンテーション
- ・振り返り

▶ 探究的姿勢の深化

21

新実習棟の建設

○美術室、F A室、M A室、V D室、デッサン室、
大講義室等を整備した実習棟

※完成イメージ



作成：田畠建築設計事務所

※色彩など、実際の仕上がりと異なる場合があります。 22



2

統合校の教育内容について

(1) 学科の取り組みについて

(2) 特色ある取り組みについて

○ 一日大学



○ 「出張！デザカ」



○ ボランティア活動

○ 「産業社会と人間」や
「総合的な探究の時間」による地域理解学習○ 近隣自治体、NPO法人や
企業等との連携

県と連携し生
徒が制作した
エシカル消費
に関する広告
デザイン

○ 防災に関する取り組み



24

統合校で設置予定の部活動

運動部

(男子のみに設置)
硬式野球、サッカー

(女子のみに設置)
バレーボール、バスケットボール
ソフトボール

(男女に設置)
ハンドボール、剣道、柔道、弓道
硬式テニス、ソフトテニス、
バドミントン、体操、卓球 など

文化部

美術
吹奏楽
合唱
茶華道
書道
写真
文芸
将棋
科学
演劇
JRC、ESS など

25

3 通学費支援について

26

福島西・福島北統合校説明会

3 通学費支援について

通学費支援について

通学費支援とは

県立高等学校の統合によって、遠距離通学や自宅外通学となる生徒を対象に、通学にかかる費用の一部を支援する制度です。

令和4年度より事業開始。

福島西高校と福島北高校の統合校にも導入する方向で現在調整中。

支援の対象について（R 4導入の制度より）

県立高等学校の統合により、**校舎を使用しなくなる高校を最寄りの高校としている中学校が**、支援の対象となります。
具体的な対象中学校は、現在調整中です。

27

通学費に関する支援 ※R4からの制度より

1 対象

対象中学校の生徒の中で、バスや電車の**公共交通機関**に乗り、**定期券**を利用して、福島西・福島北統合校に通学する生徒。

2 内容

6ヶ月間の通学費のうち、**30,000円を超えた額の2分の1**を支援することで現在調整中。

※**住民税非課税世帯**は**30,000円を超えた額の4分の3**を支援することで現在調整中。

※支援額については、**6ヶ月定期券の額を基準**に算定します。

<具体例> 6ヶ月定期券が55,730円の場合※福島交通飯坂線（飯坂温泉駅～福島駅）
 $(55,730 - 30,000) \div 2 = \text{支給額 } 12,865\text{円}$ (非課税世帯の場合は 19,297円)

「福島県奨学資金」の貸与に関する支援

・奨学資金制度とは

奨学資金を貸与することで、経済的理由により修学困難と認められる者を支援し、修学を可能にする制度です。

・「福島県奨学資金」の貸与月額

県立高校に3年間通う場合…	自宅通学 貸与月額 18,000円
	自宅外通学 貸与月額 23,000円

・支援対象者について

対象中学校から対象となる統合校に入学する生徒。

・支援内容について

貸与条件を「勉学に意欲があり、学業を修了できる見込みがあると出身中の学校長が判断する者」とし、学力要件を除外します。

4

校舎方式と今後のスケジュールについて

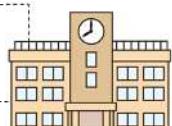
30

福島西・福島北統合校説明会

4 校舎方式について

校舎方式とは

統合する2校を統合時に一方の校舎に集約するのではなく、生徒が統合前に入学したそれぞれの高校の校舎で卒業まで学ぶことができるようとする学校の運営方式。



本校舎

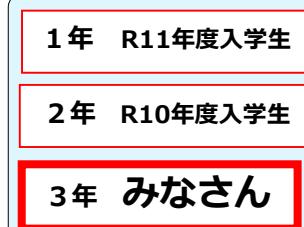
福島北校舎



高校2年生のとき

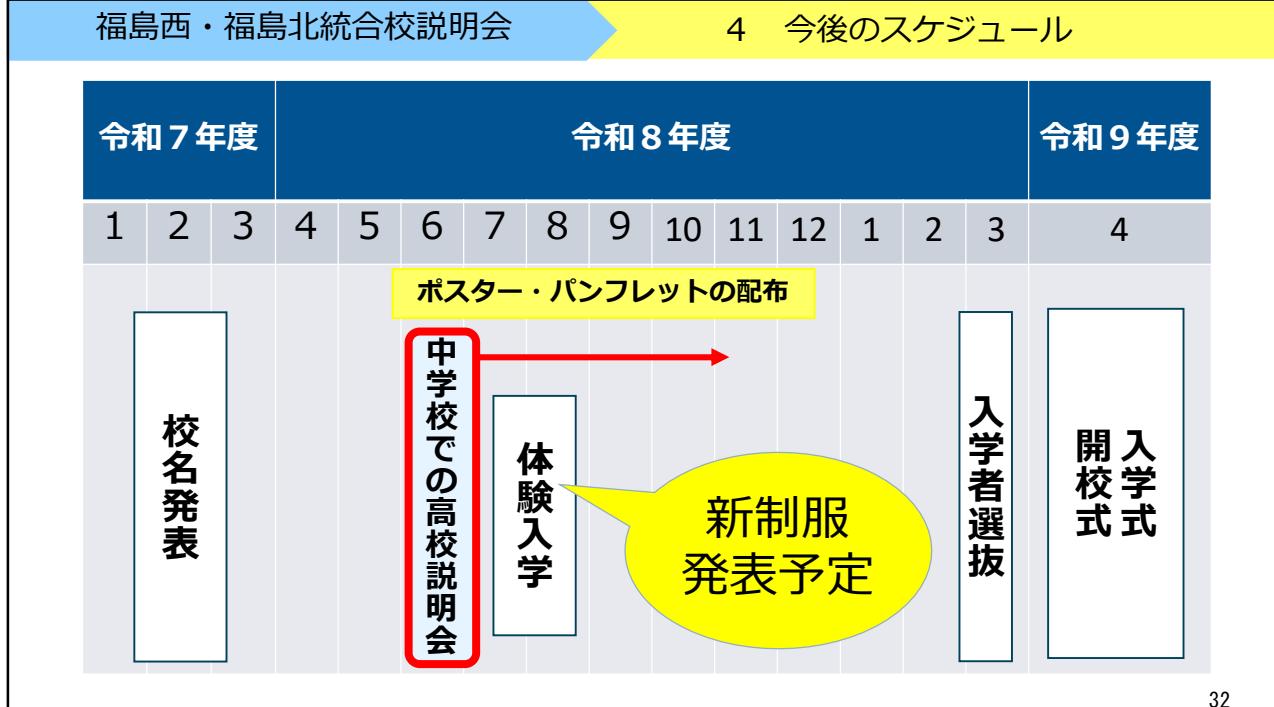


高校3年生のとき



交流会、合同行事
を実施予定

31



Q1 統合校の偏差値はどのくらいになりますか。

A1 入学者のレベルや、偏差値などは、出願状況等によって変わってきます。
統合校でこういった分野の学習をしたいという気持ちを大事にして日々の学習に励んでください。

Q2 学科で校舎が分かれますか。入試時には受験生に周知されますか。

A2 現在中学2年生の皆さんには、福島西高校の本校舎を使用することとなります。

Q3 特色選抜と一般選抜の募集定員枠の比率について。

A3 特色選抜と一般選抜の募集定員枠の割合については、来年度の11月に福島県教育委員会webサイトで公表予定の「各高等学校の選抜方法一覧」でご確認ください。

Q4 電動車椅子での学校生活について。

A4 本校舎として使用する福島西高校の校舎は、トイレ、生徒昇降口などはバリアフリーとなっております。なお、エレベーターは設置されておりませんので、ご承知おきください。階段への対応については、今後ご相談に応じながら検討してまいります。

Q5 統合後の就職率や進学率について。

A5 統合校は進学指導重点校として、難関国公立大学、難関私立大学、国公立大学、私立大学や、看護、保育系などの短期大学、専門学校、公務員を目指す学校としております。

福島西・福島北統合校 に関する説明会

本日はご来場いただきありがとうございました。
統合校の開校に向けて、参考といたしますので
アンケートへのご協力をお願いします。
なお、ご家族で参加された場合は、代表者様だけ
でなく、それぞれでの回答をお願いします。
アンケートの回答は、こちらの二次元コードから



福島県教育委員会